

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	大気汚染の緊急時に関する事務(光化学スモッグ等)	所管	環境クリーン部 環境対策課
			TEL 2998-9230

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民及び教育関連施設・医療機関等に光化学スモッグ注意報等の市民への周知し、光化学スモッグによる健康被害等を未然に防止を図るとともに、被害発生状況時の対応体制を確保する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	339,057	人

活動の内容	(何を したか)	所沢市大気汚染緊急時対策要綱に基づき、光化学スモッグ注意報等の発令時において市民への周知や関係機関への連絡を実施するとともに、健康・植物被害発生時における届出の受理と埼玉県への報告を実施する。 ①関係各課による連絡調整会議の開催 ②本要綱に基づく連絡体制網により、教育関連施設及び医療機関等への周知を行う。(庁内放送・FAX連絡) ③防災行政無線(固定系)の利用により、市民への周知を行う。 ④健康・植物被害発生時における届出の受理及び埼玉県への報告							
	活動実績	項目名	周知実施率	100	項目名	周知回数	33	項目名	単位
			----- 単位 %			----- 単位 回		----- 単位	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	14	12	2,642	7.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	健康・植物被害受理数		0	1	*****
			----- 単位 件	----- 単位 件	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	050200	TEL	2998-9230
事業コード	050205	大気汚染の緊急時に関する事務(光化学スモッグ等)		環境クリーン部 環境対策課		
開始年度	昭和 50 年度	→	終了年度	平成 年度		
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令	
分野別計画・指針	所沢市環境基本計画			大気汚染防止法、埼玉県大気汚染緊急時対策要綱、所沢市大気汚染緊急時対策要綱		
関連・類似事業	大気汚染状況の常時監視事業、大気規制対象事業所検査事業					
総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	5節 環境保全	中柱	1 大気環境の保全
					小柱	(2)大気環境の監視測定体制の充実
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 8 位		・実施計画における位置づけ…H19 *** H20 ***				
行政改革大綱における行動計画への位置づけ						
コード	1111	市民の知りたい情報の提供		コード		
事業開始の背景		光化学オキシダント高濃度時における健康被害等を防止することを目的として、大気汚染防止法第23条に基づき、埼玉県知事より発令される緊急時の措置を履行するため、昭和50年から本事業を開始している。				

②事業の概要	目的(何のために行うか、具体的に)	市民及び教育関連施設・医療機関等に光化学スモッグ注意報等の市民への周知し、光化学スモッグによる健康被害等を未然に防止を図るとともに、被害発生状況時の対応体制を確保する。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)	市民		利用数の考え方 健康被害の未然防止者数				
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	平成 19 年度	339,058	人
			平成 19 年度	339,058	人	平成 19 年度	339,057	人
事業の具体的な内容及び実施方法 所沢市大気汚染緊急時対策要綱に基づき、光化学スモッグ注意報等の発令時において市民への周知や関係機関への連絡を実施するとともに、健康・植物被害発生時における届出の受理と埼玉県への報告を実施する。								
①関係各課による連絡調整会議の開催 ②本要綱に基づく連絡体制網により、教育関連施設及び医療機関等への周知を行う。(庁内放送・FAX連絡) ③防災行政無線(固定系)の利用により、市民への周知を行う。 ④健康・植物被害発生時における届出の受理及び埼玉県への報告								

③事業の内容	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点 平成18年度から休日業務を消防本部指令課に移管していることから、本業務の円滑な遂行のため、連絡調整会議を実施した。また、光化学スモッグ情報の周知率を高めるため、関係機関に対するメールサービスを実施する体制整備を行った。						

④前年評価と改善点	「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。					
	「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。					
	「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。					
	「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。					
	「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。					
	「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。					
	「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。					

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		17	14	18	
	決 算 (見込み含む)		7	12		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人) (人) (人)				
	正規職員人件費		0.31 人	2,852	0.28 人	2,630
	公債費					
	事業費合計		2,859	2,642		
	一般財源		2,859	2,642	18	
	財源内訳	国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			8.5	7.8		
利用数一単位あたり(単位:円)			8.5	7.8		

⑥指標	項目名	周知実施率	計算方法	周知実施数/要綱に基づく周知必要数×100	単位	%	H 18	100	H 19	100	H20見込み	100	将来目標	100		
	活動実績	周知回数			回			24	33							
	成果分析	健康・植物被害受理数			件		目標値	0	0	0	0	実績	2	1	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	2
					%	達成率	****	****								

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合		<input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係		受益者負担の有無	見直しの必要性
						<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題		平成18年度に引き続き、19年度においても光化学スモッグによる健康被害報告が発生したことから、新たな伝達手段を模索するなど、健康被害の未然防止に向けた取り組みを強化する必要がある。このため、従来行っている広報による周知のほか、光化学スモッグに関するメールサービスを新たに実施し、その周知率を高める。					

⑧二次評価	今期目標項目(何を)	健康・植物被害受理数	達成水準(どこまで)	ゼロ	時期(いつまで)	平成21年3月末
	平成20年度における目標設定					
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 => (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
評価理由 成果指標である健康被害の未然防止についてほぼ良好な状況にあること、また本事業は大気汚染による健康被害等の防止に不可欠な事業であるため。なお、予算については、当該事業に係る経費の殆どが人件費によるものとなっていることから、現状どおりとする。						
評価日		平成20年5月9日	記入者職氏名		環境対策課長 中 勉	

⑨個別計画における方向性	一次評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	評価理由	評価日					
二次評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	評価日					

⑩環境基本計画	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	111	
	施策の体系	1-1大気汚染の防止	施策の方向	1-1-1自動車排ガス対策の推進		
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード		
	基本目標					
主要課題						
施策の方向						